



飯舘村における農業再生と風評被害払拭のための教育研究プログラム

事業申請者：
東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
溝口 勝

2018年8月6日

福島イノベーション・コースト構想
「第二回福島復興学ワークショップ」

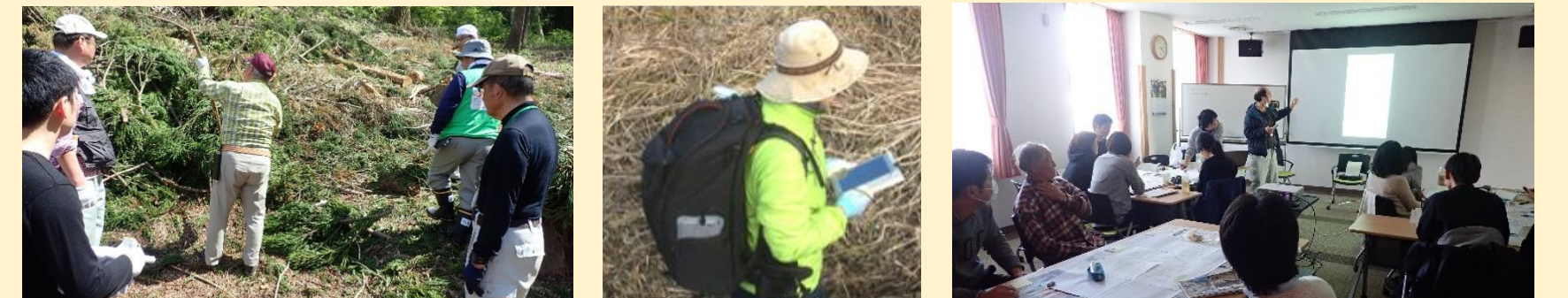
事業の概要とポイント

- ▶ 原発事故の3か月後から飯舘村に赴き、NPO法人や農家と協働で独自の農地除染法を開発し作物の試験栽培を実施
- ▶ 学生の現場見学会を実施して現地訪問前後における学生の意識の変化を目の当たりに

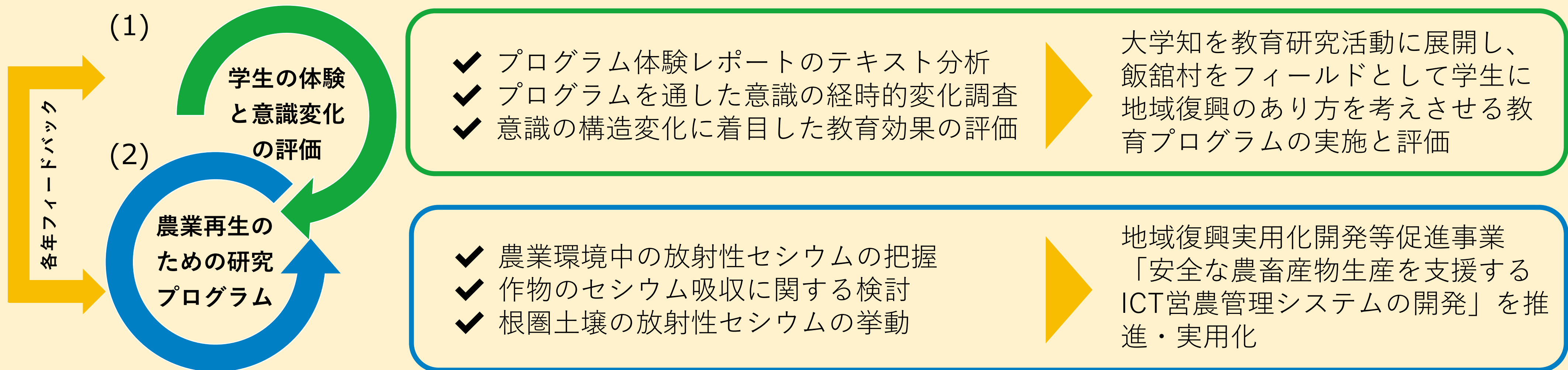
飯舘村の農業復興には放射能汚染地というハンデにめげずに新しい日本型農業の創設にチャレンジする若者を育成することが必要である

主要目的

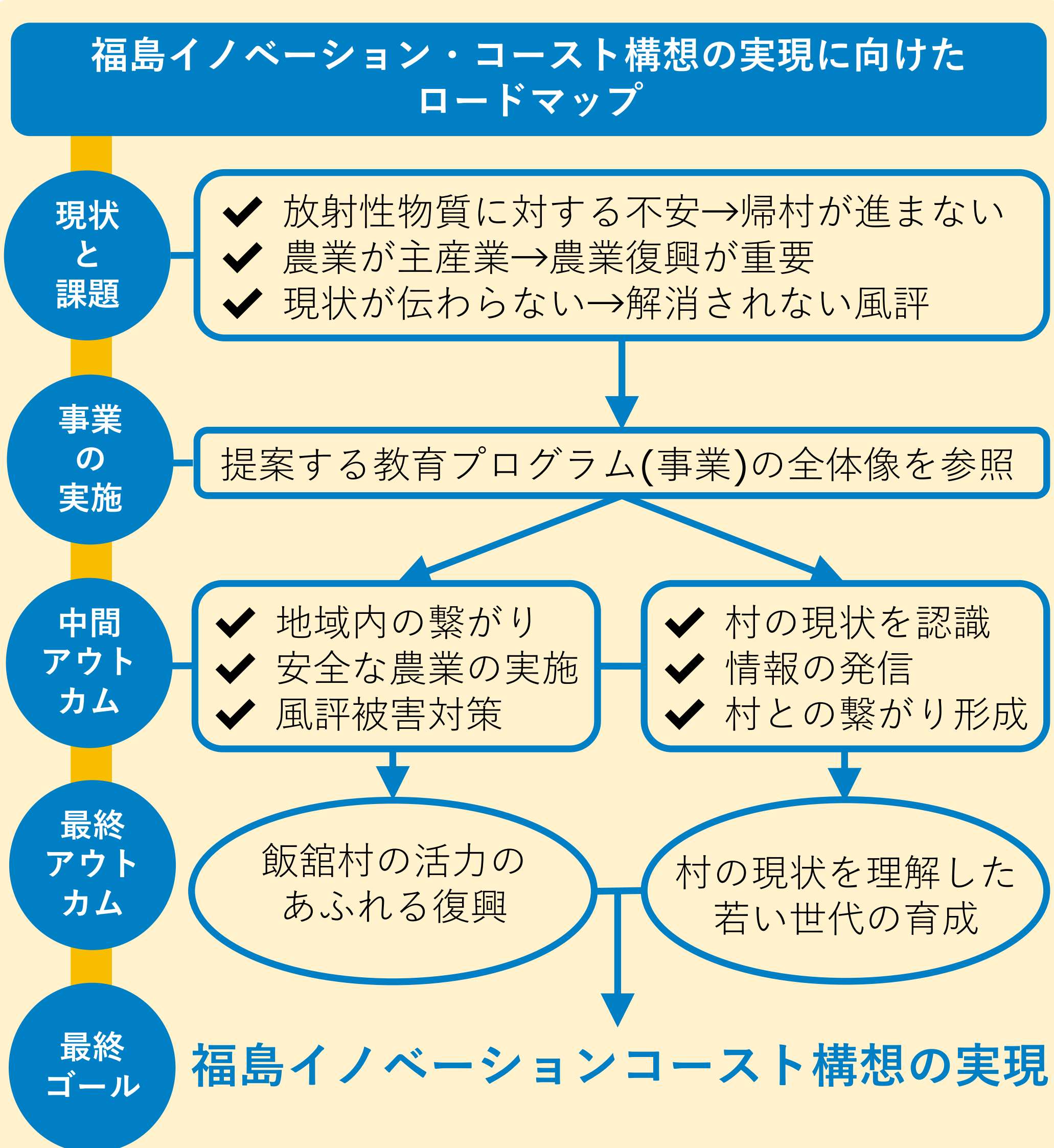
蓄積されてきた大学知を教育研究活動に展開し、学生を飯舘村の現地に連れて行くことで学生に「現場を見ることの重要性」を実感させると共に、教員とフィールド研究を行うことで大学の社会的価値と地域復興のあり方を考えさせる機会を設ける。



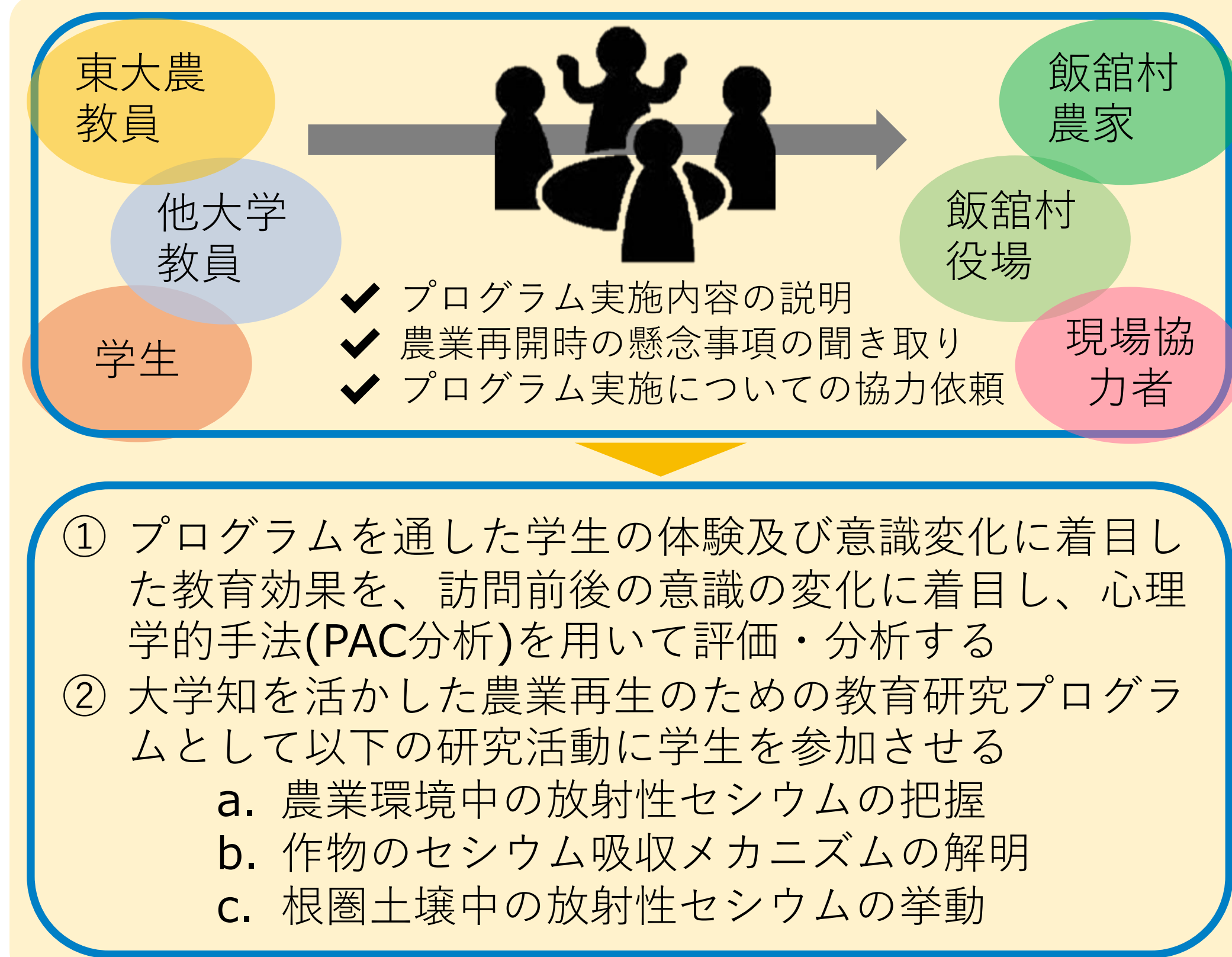
提案する教育プログラム(事業)の全体像



事業のロードマップ



今年度の事業実施計画



本事業の将来的な展望

- ▶ 農村環境のモニタリングシステムの構築
- ▶ 風評被害を払拭した農村再生のシナリオ構築
- ▶ 農村と他の地域(都市圏)との交流の活発化モデルケース
- ▶ 総合科学としての農学による次世代教育プログラム構築

連携協力：
飯舘村役場, 認定NPO法人ふくしま再生の会
弘前大学, 茨城大学, 宇都宮大学, 明治大学, 三重大学, 四日市大学, 京都大学, 佐賀大学